農業ひろさき

2021年1月1日　（第179号）
（令和３年１月１日）

編集と発行 ： 弘前市農業委員会
弘前市大字上白銀町1-1　前川本館3階　電話0172-40-7104

～丹精込めた実りを収穫～
＝東目屋中学校＝



10月29日、東目屋中学校の生徒が、体験学習として、春先から栽培していたりんごを収穫しました。

市立東目屋中学校（森尚生校長）は、総合的な学習の一環として、りんご樹一本ずつを生徒が受け持ち、葉取りや玉回し作業など、各々の管理ノートに記録しながらりんご栽培を行ってきました。この日は、全校生徒と先生、支援する保護者が、平山集落に程近い園地で王林とふじを収穫しました。

また、収穫後は校内コンテストがあり、班ごとに厳選された果実が集められ、生徒がお互いに評価し、出来ばえを競っていました。

ある生徒は、「マスクをしたままの夏の作業が、とても苦しかった。」と話しながらも、豊な実りを前に、自然と笑みがこぼれていました。

森校長は、「生徒は、誰から指示を受けるでもなく、自発的に収穫・運搬・選果・箱積みなどの作業をし、仲間のサポートも行いました。素晴らしいことだと感じています。また、当校に赴任し、生徒を通じて、改めて一個のりんごが出荷できるまでの難しさと愛しさを感じた。」と話していました。













３年生の市場見学

収穫したりんごは11月４日に、弘前中央青果での競りにかけられ、３年生の生徒は、一年間の成果が実社会で評価される市場での取引きを見学しました。

年頭にあたって



弘前市農業委員会
会長 成田 繁則

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年、全国的には「令和２年７月豪雨」が発生するなど、東北地方から西日本にかけて記録的な大雨や日照不足など顕著な天候不順がつづき、特に熊本県を中心に記録的な大雨となるなど、甚大な被害が発生しました。被災地に親族・知人がおられる皆様も心配されたことと思います。

幸いにも、本市においては台風の直撃もなく、大きな災害には見舞われませんでしたが、各地から伝えられる被害状況を思いますと、自然災害に対する備えの必要性を改めて感じさせられたところであります。

昨年の本市農業を顧みますと、雪解けが例年より早く、農作業も早めの対応となりました。令和２年産りんごは、適期防除の効果から黒星病の発生も少なく品質も概ね良好に仕上がりました。また、待望のリンゴ黒星病に対する新防除薬剤が登録され、この春から使用できる見通しになったことは明るい話題となりました。主食用米は、県全体で「やや良」となり令和元年産に引き続き豊作基調のうえ、１等米比率も上回り、良い出来秋とともにより多くの皆様に本市の農産物をお届けできることを喜ばしく思うところであります。

一方、市場においては、りんごは、早生種出荷時から高値傾向が続きながらも、昨年11月頃から平年並みの価格に落ち着いた状況にあります。また、このところ高値基調で推移していた米価にあっては、いまだに続く新型コロナウイルス感染症による影響で、昨年６月以降停滞傾向を続けており、外食産業に引き合いの強い県産米の性格から申し上げても、一日も早い終息と、需要の回復を願うところであります。

当農業委員会におきましては、農業委員及び農地利用最適化推進委員の任期を折り返した状況にありますが、農地利用の集積・集約、遊休農地の解消など、一朝一夕で解決できない課題が山積している中で、現地調査や農地の利用調整、要請活動など、これまで培った経験の元、農地利用の最適化に引き続き取り組んで参ります。

本年も、本市農業・農村の持続的発展のため、皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして良い年でありますよう祈念いたします。

りんご青年と遊ぼう！ 雪の相馬で交流会

りんご農家の２０～３０代男性と一緒にりんご枝剪定体験＆スノーモービルで遊んだ後、ロマントピアで温かい飲み物とアップルパイを食べながら楽しく交流をします。
ぜひ、ご参加ください!!

◆**日　時**　２月20日（土）11：50（弘前駅集合）
※16：00までの日程です。
◆**場　所**　星と森のロマントピアそうま
（水木在家字桜井）
◆**対　象**　20～30代の独身女性10名
◆**服　装**　帽子、手袋、スキーウェア、防寒靴のような寒くないもの。
◆**参加料**　無料
◆**特　典**　申込みをされた方には事前にジェルネイルなど３コースから選べるビューティーチケットをプレゼント。
◆**申込締切**　１月29日（金）
◆**申込方法**　電話でお申し込みください。
■**申込先**　相馬地区地域おこし協力隊石田（相馬総合支所）☎８４－２１１１



～人が集まる魅力ある職場をつくろう！～
労働力確保を目指した「働き方改革」を！ 農業経営者のための勉強会を開催

◆**日　時**　２月17日（水）13：00～15：00
◆**場　所**　岩木文化センターあそべーる「ホール」
（弘前市大字賀田一丁目18－４）
◆**内　容**
①人が集まる職場づくりに向けた研修
②働き手から見える現場
～農業の就労環境等に関するアンケートより～
③雇用・労務管理の実践事例報告
※内容は変更となる場合があります。
◆**定　員**　100名
◆**対象者**　農業者及び農業法人、農業に関心のある方
◆**参加費**　無料
◆**申込方法**　２月16日（火）までに農政課までお申し込みください。
※当日参加も可能です。
※定員に達した場合はお断りさせていただく場合もございます。
■**問い合わせ・申込先**
農政課地域経営係（市役所前川本館３階）
☎４０－７１０２　ファクス３２－３４３２
メールアドレス nousei@city.hirosaki.lg.jp

認定農業者制度をご活用ください！

農業者が自らの創意工夫に基づき、５年後の経営目標（農業所得等）や具体的な取組を定めた農業経営改善計画を作成し、市の認定を受けることで「認定農業者」になることができます。認定農業者は、各種支援措置を受けることができます。

また、高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など、地域農業が抱える課題を解決するために農業者の話し合いに基づき策定する計画「人・農地プラン」に、認定農業者が「中心経営体」として位置づけられることにより、更なる支援措置を受けることができますので、是非本制度をご活用ください。

詳細については、担当へお問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください。

トップページ ＞ 農業・商工業・観光
＞ 農業情報 ＞ 農業経営について
＞ 認定農業者制度
■**問い合せ先**　農政課担い手育成係
（市役所前川新館３階）☎４０－０７６７

「清水森ナンバ」を栽培してみませんか？！



弘前在来トウガラシ「清水森ナンバ」を栽培する新規会員を募集しています。

なお、健康な土で高品質なナンバを栽培するために、栽培を始める前に土壌診断をする必要があります。

■**問い合わせ先**　在来津軽「清水森ナンバ」ブランド確立研究会事務局
（青森県特産品センター内：中村さん）　☎３９－１８１１



普及活動の一環で、お手伝いした昨年７月の津軽中学校「清水森ナンバ」鉢植え体験での一コマ。（研究会の中村会長は右から２人目）

農業者年金～お問い合わせは農業委員会事務局もしくはお近くの農協で！

しっかり積み立て、がっちりサポート　安心で豊かな老後を

「弘前市りんご公園ウィンターフェスティバル」

◆**日　時**　１月30日（土）・31日（日）
10：00～15：00
◆**場　所**　市りんご公園
（清水富田字寺沢）
◆**参加料**　無　料
◆**内　容**　そり滑り、雪上レクなどを予定。
■**問い合せ先**　弘前市りんご公園（担当：大瀬）
☎３６－７４３９



農地流動化情報

農業委員会では、農地の有効利用と遊休農地解消対策として、「農地を貸したい、売りたい」または「借りたい、買いたい」などの情報を提供しています。

申出区分	整理番号	農地の所在	現況地目	利用状況	面積	希望価格	備考
売りたい	1098	三世寺字色吉 180－2	田	休耕	0.82a	交渉次第	貸借も可 無償～1万円
	1099	高杉字尾上山703	畑	休耕	8.88a	交渉次第	
	1100	高杉字尾上山704 他２筆	畑	休耕	11.58a	交渉次第	貸借も可
	1102	小栗山字小松ケ沢 227－8	畑	保全管理	2.71a	交渉次第	
	1103	小栗山字沢部 225－10他１筆	畑	保全管理	10.68a	交渉次第	
	1104	大沢字高地森１－９	畑	一部野菜	53.87a	交渉次第	
	1105	百沢字山田60	畑	休耕	34.42a	交渉次第	貸借も可
	1109	百沢字東岩木山 207－１	畑	休耕	18.22a	交渉次第	貸借も可
貸したい	1097	小栗山字鷲ノ巣 １－630	畑	保全管理	9.42a	交渉次第	
	1101	湯口字一ノ下り山 87－435他１筆	畑	りんご	20.47a	5,000円/10a	
	1106	小沢字井沢106－13	畑	休耕	37.00a	交渉次第	
	1107	百沢字東岩木山 256－１他１筆	畑	休耕	26.71a	交渉次第	

このほかの情報もありますのでお問い合わせください。なお、市のホームページからも情報提供を行っています。

トップページ ＞ 農業・商工業・観光 ＞ 農業情報 ＞ 農地に関すること ＞ 農地流動化情報

■取扱窓口及び問い合わせ先

①農業委員会農政係（市役所前川本館３階）☎４０－７１０４
②農業委員会岩木分室（岩木庁舎１階）☎８２－３１１１内線６１１
③農業委員会相馬分室（相馬庁舎１階）☎８４－２１１１内線８０５

りんご園等改植事業
（令和３年春・秋植え分）

市では、りんごや特産果樹の改植事業（令和３年春・秋植え分）の**要望受付**を行います。補助事業の活用をお考えの方は下記期間内にお申し込みください。

◆**補助対象者**　市内の農家または農地所有適格法人
※丸葉は60歳未満（令和４年３月末時点）の方に限ります。
◆**事業内容**
①りんご…わい化・丸葉への新植・改植に要する経費
②特産果樹（ぶどう、もも、おうとう、なし ほか）…新植・改植に要する経費
③事業実施後の未収益期間（４年間分）の園地管理費用に対する補助
◆**採択基準**　植栽面積が地続きで２ａ以上かつ新植・改植であること。
※補植（植栽する木と残す木が交互に並ぶ）は対象外です。
◆**植栽間隔**
①りんご（わい化）：列間４ｍ～６ｍ、樹間２ｍ～３ｍ
②りんご（丸葉）：列間・樹間ともに６ｍ～９ｍ
③特産果樹：種類ごとに異なりますので、お問い合わせください。
◆**植栽面積の算定方法**　列間距離×樹間距離×植栽本数
◆**補助対象経費**　苗木購入費、資材購入費、植栽関連費、支柱購入費など
◆**補助額**
〇新植・改植部分
①りんご（わい化）…補助対象経費の実費、もしくは定額（10ａあたり16万円）のいずれか少ない額以内の額
②りんご（丸葉）・特産果樹：補助対象経費の実費、もしくは定額（10ａあたり８万円）のいずれか少ない額以内の額
〇未収益部分…定額（10ａあたり10万円）以内の額
※この金額は４年間分であり、一括交付します。
◆**申込期間**　２月１日（月）～２月15日（月）
※園地の所在地（番地まで）・面積、品種・本数・植栽間隔、改植の場合は伐採品種・本数をお知らせください。
※植栽予定図をお持ちください。
■**問い合わせ先**　りんご課生産振興係（市役所前川本館３階）☎４０－７１０５

※今後、内容が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※事業計画によっては、国の改植事業の対象となる場合がありますので、そちらの活用もご検討ください。
※ご不明な点等ございましたら、上記連絡先へお問い合わせください。

青色申告を始めましょう！ ～税務署の申請期限は3月15日です！



青色申告は、収入保険に加入できるだけでなく、節税や経営の客観的な把握のための重要なツールです。

今年こそ青色申告を始めて自身の経営力をアップさせましょう！

※収入保険は、品目の枠にとらわれず、自然災害による収量減少だけでなく、価格低下などを含めた収入減少を補填する保険です。

・新たに青色申告を始めるためには、個人の場合、３月15日までに、税務署に「所得税の青色申告承認申請書」を提出する必要があります。



・収入保険に加入するには、青色申告の実績が少なくとも１年分必要です。
・今年から青色申告を始めれば、令和５年から収入保険に加入することができます。

「青色申告研修会」を開催します！

青色申告や収入保険のポイントについて学べる研修会を開催します。ぜひご参加ください。

❖「収入保険の入口！青色申告研修会」❖

◆場所　岩木文化センターあそべーる「ホール」

◆日時・内容　１月26日（火）

①第一部「入門編」 10：00～12：00
青色申告と収入保険を始めるためのポイント

②第二部「実践編」 13：00～16：00
青色申告に必要な帳簿の記帳方法に関するポイント

◆参加料・定員　無料・70名（要申込・先着順）

◆申込締切　１月22日(金)

◆お願い　当日はマスクの着用をお願いします。また、参加前に検温等をし、体調不良の場合は参加をお控えくださるようお願いします。

■問い合わせ・申込先　上記「青色申告研修会」へのお申し込み等は、電話、ファクス（※１）またはメール（※２）でひろさき農業総合支援協議会（農政課担い手育成係、市役所前川本館３階）までお願いします。

ファクスまたはメールでお申し込みの際は氏名、電話番号、参加希望区分（第一部のみ・第二部のみ・両方）について記載のうえ、送信してください。

☎４０－０７６７　※１⇒ファクス３２－３４３２　※２⇒メールアドレス ninaite@city.hirosaki.lg.jp

謹賀新年



今年も充実した紙面づくりを心がけます。
ご愛読のほどよろしくお願いします。





（前列左から）三上悦治広報委員長、三上幸雄広報副委員長
（後列左から）小林政貴広報委員、進藤　司広報委員、藤田善明広報委員

農地の権利移動・転用等の申請締切は

毎月27日（休日等の場合は前日）です。

書類がそろわないと受理できない場合がありますので、申請は、お早めにお願いします。

■問い合わせ先　農業委員会農地係（市役所前川本館３階）☎４０－７１０４

気候変動に気を配り、適切な病害虫防除に取り組んで、出来秋を迎えましょう！

広報委員会から

りんご農家の皆様におかれましては、収穫を終え、ほっと一息つかれていると思います。

さて、昨年を振り返りますと、春の開花期は、降霜により中心花が広範囲で被害を受けた園地もありました。また、春から梅雨にかけて例年より降雨が多く、リンゴ黒星病が発生しやすい条件が続きましたが、生産者の薬剤適期散布（降雨前散布）や適正散布量の遵守によって、発生をかなり抑え込むことができたようです。

夏季には、好天と高温で早生種の日焼けやハダニの発生に悩まされた方も多かったかのではないでしょうか。また、高温多湿を好むリンゴ炭疽病と輪紋病の発生も多く、秋季には、低温多湿のため、リンゴ褐斑病の発生も散見されたようです。

収穫期は、幸いなことに台風等の被害もなく、比較的天候に恵まれ、作業がはかどったと聞いております。

一方、りんご収穫量は、晩生種が全般的に多く、例年より収穫作業に時間を費やした方も多かったと思います。

また、リンゴ黒星病に対する新薬剤登録という明るいニュースもございました。今年から使用が可能となりますので、使用基準をしっかり守り、耐性菌が出現しないように適切な使用を心掛けましょう。

今年も実りある出来秋が迎えられますことをご祈念申し上げます。